



★ 向陽高校は平成18年度にスーパーサイエンスハイスクールの指定を受け、2年目に入りました。

- ・ ところで、SSHってなに？
- ・ SSHの指定を受けて、今までと何が違うの？
- ・ SSHでどんなことができるの？
- ・ 1年生でのSSH活動って、どんなことをするの？



SSH(スーパーサイエンスハイスクール)とは？

スーパーサイエンスハイスクール

向陽高校は、平成18年度にSSH事業の指定を受け、今年、2年目に入りました。

平成14年度より文部科学省は未来を担う科学技術系人材を育成することをねらいとして、理数系教育の充実を図る「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）事業」が始まりました。

SSHの指定校では、科学技術、理科・数学教育を重点的に行い「科学への夢」「科学を楽しむ心」をはぐくみ、生徒の個性と能力を一層伸ばす教育が展開されています。

また、科学技術に夢と希望を持つ、創造性豊かな人材の育成のため、大学や研究機関とも連携して魅力的なカリキュラムや指導方法の研究も行っています。

継続を含め、平成19年度に31校が新たにSSH事業の指定を受けています。

SSH事業の助成金により、普通の学校ではできないことが可能になります。

- ・ 専門器機の購入による実験の充実
- ・ 大学への訪問
- ・ 第一線で活躍する科学者による講演会や授業
- ・ 全国SSH指定校との交流

本校のスーパーサイエンスハイスクールの取り組みは？

向陽高校のスーパーサイエンスハイスクール事業では、環境科学科の生徒を主な対象として、以下の研究開発課題に取り組みます。

- (1) 科学に関する基礎知識の定着に向けた「学習」から主体的な「研究活動」に発展させる理数教育システムの構築を図る。
- (2) 「環境問題」をテーマに、自然科学や社会科学の両分野からアプローチするとともに、他教科で学習した知識の統合化を促し、多面的に考察・探究する力を育成する。
- (3) 理系の併設中学校と連携し、6年間の中高一貫教育において体系的かつ高度な理数教育を行う教育課程の研究開発に取り組む。



「中学校レベルの基礎的な内容から大学レベルの高度な内容まで学習し、大学教授等との連携・協働による継続的な指導のもと実験を多く使い、環境問題も視野に入れた多様な学習活動を幅広く展開していきます。」

具体的には

- ① カリキュラム変更・情報の授業がSSHの授業（SS探究科学、等）に振り替わるなど理科の授業時間数が多くなります。
 - ・ 1年生から、物理、化学、生物を学習する。
 - ・ SS探究科学の授業を利用した、実験・実習の増加
- ② 大学等の連携・・・高度な研究に触れ、高い視野で科学技術について学ぶ。
 - ・ 和歌山大学、和歌山県立医科大学、大阪大学、京都大学等への訪問、宿泊研修など
- ③ 多面的な環境学習・・・ディベート等これまでの環境科学科で取り組んでいた学習をさらに深めていきます。またコンピューターなどを利用したプレゼンなど、考察力とコミュニケーション力を高めます。

これから皆さんは、SSHでいろいろ体験していくことになると思います。皆さんが、この取組を通して、将来大きく羽ばたくことを期待しています。ときにはしんどいこともあるでしょうが、積極的に、また楽しみながら取り組み、力をつけていきましょう。

SSH関連行事始まる

4月から、SSHの関連した行事が始まっています。

詳しいことは、またSSH Newsで紹介しますが、1年間の流れは、右のようになっています。

4月 SSHオリエンテーション
SS環境科学I、SS探究科学I 始まる

5月 科学史パネル作成
水質分析

6月 研究室訪問I
関西光科学研究所

7月 先端科学講座I（数学）

8月上旬 SSH全国研究発表会

10月下旬 ラボツアー

その他の大学研究機関連携事業については、今日程を調整しているところです。詳細については後日。